

年 月 日

当院 HCU で入院診療を受けられた患者さんへ

## 「院内脳卒中発症時の初期対応の実際と看護」 への協力をお願い

朝日大学病院では、下記のような診療を受けた患者さんの診療情報および看護記録を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2021年1月1日～2025年12月31日の間に、脳神経外科以外の診療科へ入院中に脳卒中を発症し、脳神経外科へ転科された患者さん

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2029年12月31日

研究目的・利用方法：

本研究は、院内で脳卒中を発症した際に、どのような契機で異常が認知され、初期対応がどのように行われていたのかを診療録および看護記録を用いて後ろ向きに検討し、院内における脳卒中の早期認知および初期対応に関する看護実践の実際を明らかにすることを目的としています。

本研究を通して、院内における脳卒中の早期認知ならびに適切な初期対応へつながる看護の視点を明らかにし、今後の看護実践および院内体制改善への活用を目指します。

研究に用いる試料・情報の項目：

- ・年齢、性別・入院診療科、入院理由
- ・既往歴、内服状況（抗凝固薬・抗血小板薬の有無）・発症認知の契機および状況
- ・発症前後のバイタルサインおよび意識レベル・発症時の神経学的所見
- ・評価尺度の使用状況・発症認知から専門家介入までの時間経過
- ・実施された検査および検査結果と治療内容・脳卒中の病型・転帰

本研究のために新たな検査や介入を行うことはありません。

研究に用いる試料・情報の利用を開始する予定日：

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関連して、患者さんへ新たに実施していただく事項はなく、費用のご負担も生じません。本研究の内容や研究結果などについてご質問がある場合は、以下の連絡先までお問い合わせください。また、試料および情報が本研究へ使用されることに同意いただけない場合は、研究対象から除外いたしますので、下記連絡先までお申し出ください。

なお、本研究は朝日大学病院医学倫理審査委員会の審査・承認を受け、病院長の許可を得て実施しています。

本研究への参加を辞退された場合でも、将来にわたる当院での診療・治療において不利益が生じることはありません。

## 研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び朝日大学病院に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

## 研究責任者

朝日大学病院 看護部 HCU

氏名：羽田野 満明

## 連絡先

朝日大学病院 看護部 HCU

電話番号：058-253-9961

氏名：羽田野 満明

